

2022年度新入社員祝辞

2022年度新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。本日入社された140名の皆さんは、学生生活の貴重な最後の2年間をコロナ禍という極めて制約された世界の中で過ごされました。その残念さは、いかばかりであったかと思います。そのような困難な状況を乗り越え、本日デンカに入社して頂いたことを心から感謝し、歓迎したいと思います。

本日皆さんが入社されたデンカは、今から107年前に「諸種の化学工業を経営せんとするものなり」との設立趣意のもと事業を開始しました。肥料から始まったデンカはその後事業範囲を広げ、まさに「諸種の化学工業を経営」する会社となっています。そのような状況のもと、現在デンカは、2018年より始動した中期経営計画 Denka Value-Up のもと、独自性と高付加価値を兼ね備えた事業の集合体である「Specialty-Fusion Company」となることを目指し、事業ポートフォリオ改革を進めるとともに、「事業 Value-Up」、「環境 Value-Up」、「人財 Value-Up」の3つの Value-Up に注力しています。

事業計画における重点分野である「環境・エネルギー」「ヘルスケア」分野の製品群が大きく伸長し、当社は一昨年に過去最高利益を上げました。そして昨年度、および Denka Value-Up 計画の最終年度である今年度と3年連続での最高益を目指しています。

デンカがこの107年間の歴史の中で大事にしてきたもののひとつに「誠意」という言葉があります。当社の企業理念 The Denka Value の中核をなす行動指針の第一は『「誠意」と「チャレンジ精神」で、果敢に難題に挑みます』であり、「誠意」という言葉からはじまります。誠意とは「相手に対して真面目に、正直に向き合う心」、つまり「真摯な姿勢」です。

私たちが事業活動を行っていくうえでステークホルダーといわれる方々がおられます。それはお客様であり、株主であり、取引先、地域社会、そして会社の同僚など、私たちが事業活動を行っていく上で、なくてはならない方々です。私たちはこれらのステークホルダーの方々に様々な価値をお届けすることが使命となりますが、そのためにはまず、ステークホルダーの方々が何を望んでいるかを理解することが必要です。そしてそれを真に学ぶためには「誠意、つまり真摯な姿勢」が必要です。また何か問題が発生した時にも「誠意、真摯な姿勢」こそが、その解決の基礎となります。

「誠意、真摯な姿勢」こそが、これからデンカで、そして社会で仕事をしていく皆さんにとって最も重要な「成功のための鍵」となります。この鍵さえもっていればどんな難題にも立ち向かっていけるものと、私は信じています。

デンカでは来年度以降の次期経営計画の元となる基本理念について検討を重ねています。私はデンカで働く社員の皆さんが、各々の仕事を行うことにより、「社会に貢献していることを実感できる会社」、そして同時に、「それぞれ一人一人がその成長を実感できるような会社」にしていきたいと思います。

これから皆さんはそれぞれの部署に配属され、様々な仕事につかれると思います。皆さんにお願いしたいのは、そこでまずは、皆さんの仕事がどのように社会に繋がり、そして社会に貢献しているのかについて、しばらくの間勉強を重ねながら、一人一人がそれぞれの「ストーリー」を描いていただくことです。先輩にもそれぞれが社会貢献についてどのようなストーリーをもっているかを是非尋ねてみてください。

また、一人一人の成長の鍵は「学び」です。学びは「真似ぶ」からきているといわれます。まずは「真摯な姿勢」で先輩から仕事を学んでください。更には、「人財 Value-Up」で研修制度等の学びの機会の充実を図っていますので是非積極的に利用してほしいと思います。

デンカが世界に最も貢献できるのは、Denka Value-Up 計画にあるとおり、独自性と高付加価値を兼ね備えたスペシャリティー製品の供給です。本日入社された皆さんとともに、デンカを、「誰よりも上手にできる仕事でよりよい世界をつくる会社」、そして皆さんお一人お一人が「最高の自分となることのできる会社」にしていきたいと思います。

以上で本日入社された皆さんへの祝辞とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

デンカ株式会社
代表取締役社長
今井 俊夫